

小委員会の調査報告書

<p>教科名</p>	<p>音楽</p>	<p>委員長名 小島 康秀</p>
<p>調査研究の経過</p>	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を7月2日(火)に、稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、音楽科小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 7月3日(水)から7月21日(日)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会は委員の都合により開催できなかったが、各委員の意見を基に委員長が原案を作成し、メールでのやりとりの中で意見交流を通して報告書の作成を行った。</p> <p>なお、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、教育出版、教育芸術社の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次のとおりである。</p> <p>(1) 「取扱い内容」について</p> <p>(2) 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(3) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(4) 「その他」について</p>	
<p>調査研究に当たった際の配慮事項</p>	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・排列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・排列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜は図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
<p>少数意見その他</p>	<p></p>	

様式 2

教科名		音 楽				
	出版社名	教科書名	番 号	出版社名	教科書名	番 号
		教 出	音楽のおくりもの	1 7	教 芸	小学生の音楽
取扱内容	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞について、学年に応じた適切な学習活動が取り上げられている。 ○ [共通事項] について、表現の面白さを感じ取ったり、歌遊びを楽しんだり曲の変化を感じながら、聞いたり演奏したりする学習活動を取り上げている。 ○学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、音の出し方や音の響き、楽曲に込められた思いを感じ取って演奏したり歌ったりするなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞について、学年に応じた適切な学習活動が取り上げられている。 ○ [共通事項] について、歌詞や曲想から曲の特徴や曲の流れ、情景を感じ取って聴いたり演奏したりする活動を取り上げている。 ○学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、旋律のつなげ方を工夫したり、反復や変化を使ったりリズムで音楽を作ったり、声の響きの重なりを生かして音楽を作ったりなど、考えを広げたり深めたりする学習活動が取り上げられている。 		
内容の構成・排列・分量等	<ul style="list-style-type: none"> ○曲調に注目して聴いたり、身体を動かしたりする活動の後に、工夫して表現したり、それについて友だちと交流する学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 ○学びが深まるように吟味された選曲・構成・配列になっている。(縦系列・横系列) ○各校のカリキュラムに合わせて選択・対応できる構成になっている。また、学年や教科横断にも配慮した内容構成になっている。 ○鑑賞教材は、曲の見とりや評価ができるよう工夫した構成になっている。特に4・5年生の鑑賞で、日本の音楽や郷土音楽、外国の音楽の分量が充実している。 ○北海道民謡など、北海道と係わりのある内容や資料が、4・5年生で多く扱われている。(5題材で5曲) ○扱っている教材は、低学年で前回より5～6%増加している。 			<ul style="list-style-type: none"> ○1年間の学びをサポートする「学びの地図」が巻頭にあり、その年にどんな学習をするのか見通しが立てやすい。 ○3つの「つながる」をコンセプトにした観点で選曲・構成・配列がなされている。 ○リズム遊びや音楽を作る活動の後に、音楽を作る学習を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 ○「歌いつごう日本の歌」では、歌い継いでいきたい歌を発達段階に応じて全学年に掲載している。 ○4・5年生の鑑賞で、日本の音楽や郷土音楽、外国の音楽の分量が充実している。(特に4年生) ○アイヌ古式舞踊や札幌交響楽団、ニシン漁など、北海道と係わりのある内容や資料が4・5・6年生で多く扱われている。(5題材で12教材) ○扱っている教材は、全学年で10%以上増加しており、特に中高学年で顕著である。 		
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○教科横断的な教材が全学年の曲集部分に配置されている。 ○カラーユニバーサルデザインが使用されている。 ○鑑賞CDに旋律ごとのトラックが用意してある。 ○デジタル教科書は、記載の楽譜からMIDIが流れ、演奏部分に色がつく仕組みになっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ○付属の音楽授業支援DVDでは、楽譜とともに映し出されるプロの演奏家の手本を見ながら、学んだり、練習したりすることができる。 ○カラーユニバーサルデザインが使用されている。 ○他教科や日常生活、あるいは社会との関わりを考えさせるようにコラムや写真を掲載するなどの工夫がなされている。 		

その他	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書で、視覚に訴えかけながら鑑賞、歌唱、楽器演奏の指導ができる。 ○楽しい音楽活動をイメージした表紙のデザインになっている。 ○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。 ○全学年の巻末曲「おんがくのおくりもの」は、全校合唱で使いやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書で、視覚に訴えかけながら鑑賞、歌唱、楽器演奏の指導ができる。 ○デジタル教科書がWindowsだけでなくiOSに対応する計画になっている。 ○それぞれの学年で学習する音楽活動がイメージしやすいイラストの表紙になっている。 ○学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。
-----	--	--